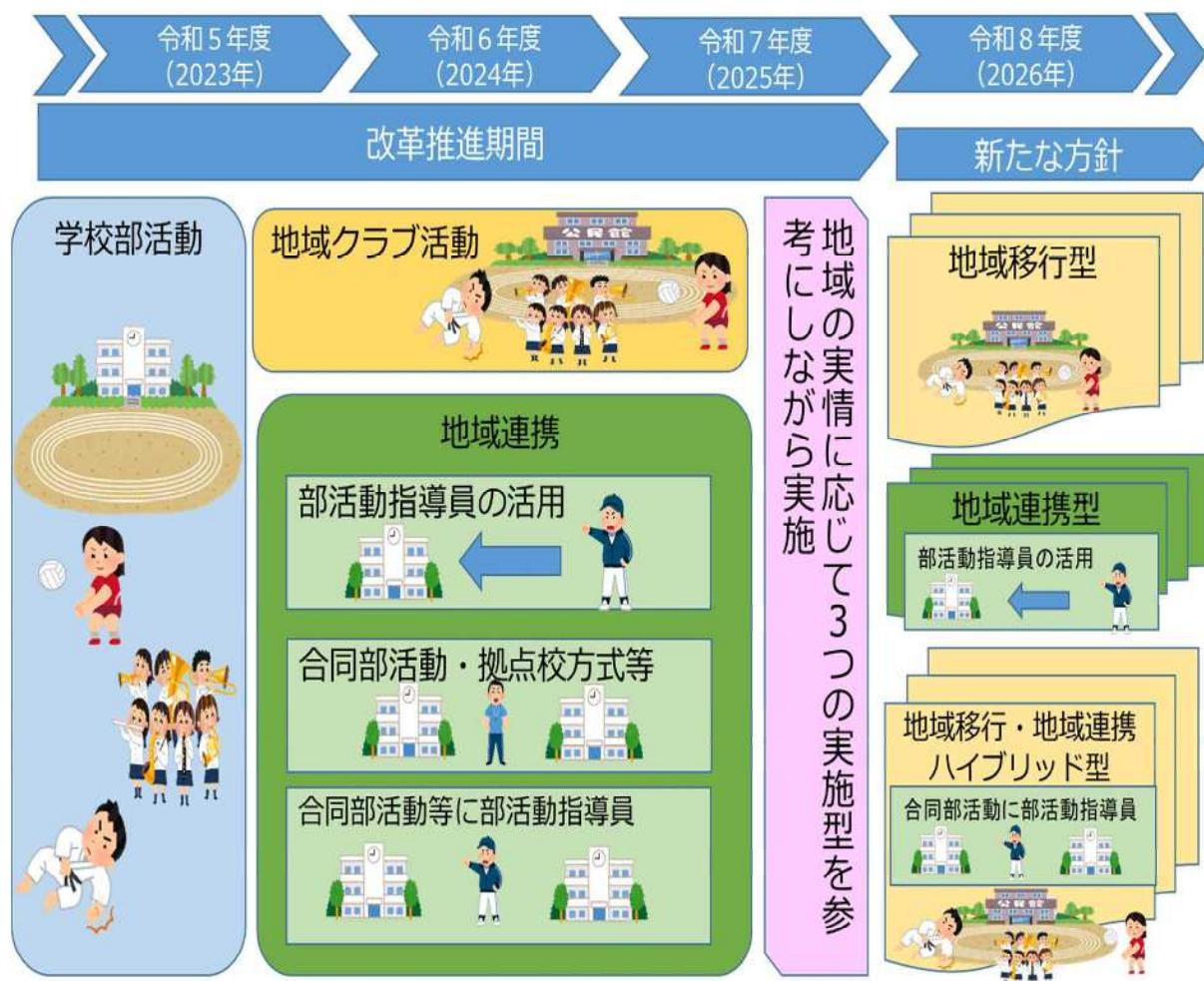


2 学校部活動の地域移行・地域連携のイメージ

市町組合で体制づくりを進めていくに当たっては、関係者の合意形成や条件整備等に時間を要する場合も考えられることから、まずは、学校部活動の地域連携や部活動指導員・外部指導者など、地域指導者の活用や合同部活動等を推進し、子どもたちの活動環境を確保しつつ、少しずつ地域移行に向けた体制整備を進め、令和8（2026）年度には地域の実情に応じて「地域移行型」「地域連携型」「地域移行・地域連携ハイブリッド型」の3つの実施型から選択していくことも考えられます（図6参照）。

〔図6：学校部活動の地域クラブ活動への地域移行・地域連携（イメージ）〕



IV 学校部活動の地域移行に向けた県・市町組合・学校の役割

地域における新たなスポーツ・芸術文化環境の整備充実に当たっては、県、市町組合及び学校が連携しながら各々の役割を果たしていく必要があります。

なお、県は、市町組合や学校が地域移行に向けた取組を円滑に進めることができるよう、例えば、図7に示した役割を担うとともに、市町組合の取組の進捗状況を把握し支援を行います。